

# 全国コミュニティ・スクール研究大会 in 三鷹 地域とともにある学校づくりフォーラム 2021 三鷹 を全面オンラインで開催します

令和 **3** 年 **11** 月 **6** 日 (土) **10:00** 開会 **16:30** 閉会

メインテーマ

## コミュニティ・スクールから始まるスクール・コミュニティの創造

### 第1部

#### 10:00 全体会

開催市取組発表として「これからの三鷹の教育の展望」を、基調講演として、メインテーマに即した内容を発表します。

開催市取組発表

教育長  
貝ノ瀬 滋



基調講演

東京大学教授・  
慶應義塾大学教授  
鈴木 寛 氏



### 第2部

#### 13:00 分科会①

三鷹市の各学園に加え全国から9の学園・学校より事例発表を行い、地域との連携・協働による学園・学校づくりの取組をご紹介します。

##### 第1分科会

テーマ：社会に開かれた教育課程の実現に資する  
コミュニティ・スクール

発表：三鷹の森学園（東京都三鷹市）  
光市立室積中学校（山口県光市）  
上越市立春日小学校（新潟県上越市）  
助言者：浅田 和伸 氏（国立教育政策研究所長）

##### 第3分科会

テーマ：これから始める・継続していく  
コミュニティ・スクールづくり

発表：朝日町立朝日中学校（富山県朝日町）  
牧之原市立萩間小学校（静岡県牧之原市）  
京都市立西総合支援学校（京都府京都市）  
助言者：小川 正人 氏（東京大学名誉教授、放送大学特任教授）

##### 第2分科会

テーマ：地域の課題解決に資する  
コミュニティ・スクール

発表：鷹南学園（東京都三鷹市）  
大槌町立大槌学園（岩手県大槌町）  
栃木市立寺尾小学校・寺尾中学校（栃木県栃木市）  
助言者：常盤 豊 氏（元国立教育政策研究所長）

##### 第4分科会

テーマ：これまでの取組を生かした持続可能な  
コミュニティ・スクールづくり

発表：にしみたか学園（東京都三鷹市）  
大町市立大町北小学校（長野県大町市）  
和歌山県立橋本高等学校（和歌山県）  
助言者：天笠 茂 氏（千葉大学名誉教授）

#### 15:20 分科会②

三鷹市での実践内容の発表として、コミュニティ・スクール委員会による学校や地域などに関する熟議などを行います。

##### A分科会

東三鷹学園CS委員会による  
CS委員と子どもの熟議

助言者：竹原 和泉  
（文部科学省CSマイスター）

##### B分科会

おおさわ学園CS委員会に  
よるCS委員の熟議

助言者：井上 尚子  
（文部科学省CSマイスター）

##### C分科会

三鷹中央学園CS委員会による  
教員とCS委員との100人熟議

助言者：鈴木 廣志  
（文部科学省CSマイスター）

##### D分科会

連雀学園CS委員会による  
子ども熟議

助言者：朝倉美由紀  
（文部科学省CSマイスター）

※ 本大会の申込方法等詳細については最終案内チラシや当会 HP (<https://japan-cs.org>) をご覧ください。

## 令和3年度 全国コミュニティ・スクール連絡協議会 役員紹介

令和3年8月に書面で開催しました臨時総会にてご承認いただきました役員及びご報告しました支部長について、ご紹介いたします。

### 会長 貝ノ瀬 滋 (東京都三鷹市教育長)



今年は、三鷹市で全国大会を主催することになりました。全国大会でこれまでの取組をご紹介できる機会となり大変嬉しく思います。全国の取組を共有し、皆様とともにさらにCS活動を推進していきたいと願っています。

### 顧問紹介

- 顧問** 鈴木 寛  
(東京大学教授、慶應義塾大学教授)
- 顧問** 生田 義久  
(京都市教育委員会企画顧問、京都市元教育長、佛教大学教授)
- 顧問** 在田 正秀  
(京都市教育委員会総務部相談役、京都市前教育長)

### 副会長 稲田 新吾 (京都府京都市教育長)



コロナ禍を乗り越えるためには、身体的な距離を確保しながらも、心の絆は強めていくことが大切です。学校運営協議会を中心に、地域ぐるみで未来を切り拓く子どもたちを豊かに育てまいりましょう。

### 副会長 菅野 和良 (岡山県岡山市教育長)



市内すべての学校園にCSを設置して2年目。誰にとっても魅力となるCSのさらなる進化を目指し、学校園の自主的・自律的な取組や地域の持続可能な仕組みづくりを支援していきたいと考えております。

### 会計監事 藤本 孝治 (山口県山口市教育長)



学びのバックボーンとなる学校・家庭・地域が一体となったCSの取組により、子供を核とした幸せの輪が社会全体に広がっていく。そのような将来像に向け、会員の皆様と取り組んでまいります。

### 会計監事 佐藤 増夫 (熊本県高森町教育長)



「高森町新教育プラン」を掲げて11年目。重点施策は、「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育・ふるさと教育」です。ICT教育の町、英語教育の町、ふるさと教育の町高森を推進中です。

## 令和3年度 全国コミュニティ・スクール連絡協議会 支部長紹介

**北海道支部長** 吉田 孝志  
(北海道北広島市教育長)



未来を担う子ども達が自己実現を図れるよう、社会とのつながりの中で学ぶことが益々求められています。全ての子ども達の可能性を最大限に引き出すため、CSの推進・発展に努めてまいります。

**東北支部長** 佐藤 吉郎  
(福島県大玉村教育長)



コロナ禍にあって、「令和の日本型学校教育」の実現には「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の充実・発展が益々重要になります。交流方法を工夫しながら、連携して取り組んでいきましょう。

**関東支部長** 朝倉 孝  
(埼玉県ふじみ野市教育長)



コロナ禍だからこそCSの継続を先の見えない状況である今だからこそ、学校・家庭・地域が連携し、子供と地域の明るい未来を語る場としてCSを推進すべきだと考えます。「With コロナ」をチャンスとして捉え、引き続き教育活動を推進してまいります。

**甲信越支部長** 早川 義裕  
(新潟県上越市教育長)



上越市は全小・中学校でCSをスタートさせて10年目になりました。CSの活性化がこれからの課題です。子供像を明確にもち、CSの主体性を発揮し、地域とともにある学校づくりを推進します。

**中部支部長** 水川 和彦  
(岐阜県岐阜市教育長)



コミュニティ・スクールのしくみを生かした教育は、ふるさとの「ひと・こと・もの」に直接働きかける「豊かで深い学び」であり、子どもたちの生き方の『貫く軸』を育てる教育であると考えています。

**近畿支部長** 上原 重治  
(滋賀県高島市教育長)



コロナ禍ではありますが、地域とともにある学校づくりを止めることはできません。今こそ関わり人口を増やし、CSの根を育てましょう。未来の学校づくりのため、一緒に取り組んで参りましょう。

**中国支部長** 荻野 雅裕  
(広島県府中市教育長)



「コロナ禍でも子供たちの学びを止めない」ために、これまで以上に学校・家庭・地域が一体となって子供たちの学びの充実に挑戦し、子供たちの成長につなげていきましょう。

**四国支部長** 真鍋 孝之  
(徳島県東みよし町教育長)



今後も子どもたちの学びの充実に向けて、しっかりと感染対策を行いながら、家庭・地域・学校が一体となった取組をより一層推進していけるよう、協力・連携して取り組んでいきましょう。

**九州沖縄支部長** 梶原 敏明  
(大分県玖珠町教育長)



このコロナ禍の全世界的な危機と大きな教育改革の潮流の中、地域社会と学校が、一緒になって危機的状況を乗り越えていきましょう。  
未来を担う子どもたちのために、頑張っていきましょう。

全国コミュニティ・スクール連絡協議会には、**9つの支部**があります。

各地区でコミュニティ・スクールの特徴的な活動や研究発表会等がありましたら、ぜひ本連絡協議会事務局（三鷹市教育委員会）や所属する地区の支部長の教育委員会まで情報をお寄せください。

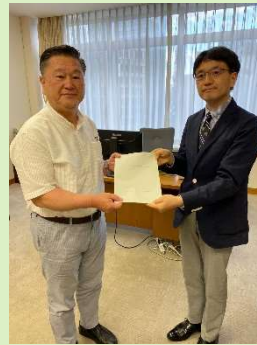


## コミュニティ・スクールの推進に向けた要望を行いました

令和3年7月に本連絡協議会として、コミュニティ・スクールの推進に向けた要望書を取りまとめ、文部科学省及びコミュニティ・スクール推進拡充議員連盟に要望を行いました。

要望書では、①コミュニティ・スクールの拡大に向けて、文部科学省の体制充実、コミュニティ・スクールへの教職員の加配措置や地域学校協働活動推進員の常駐化等を、また、②コミュニティ・スクールの一層の充実に向けて、必要な経費等への支援の充実、学校運営協議会等への教員の参加を促進するための環境整備、本連絡協議会の活用等について要望しました。

取りまとめにご協力いただいた役員、評議員の皆様、ありがとうございました。



(左：貝ノ瀬会長、右：文部科学省 寺門社会教育振興総括官 (要望時))



(左：貝ノ瀬会長、右：馳衆議院議員、コミュニティ・スクール推進拡充議員連盟事務局長 (要望時))

## 「公益財団法人日本漢字能力検定協会」が賛助会員になりました

日本語・漢字に関する普及啓発・教育支援活動を幅広く行う「公益財団法人日本漢字能力検定協会」が、令和3年度から本連絡協議会の賛助会員となりました。

「公益財団法人日本漢字能力検定協会」では、「漢検」や「文章検」に代表される効果的な国語・日本語教育の学習プログラムを提案しており、全国のコミュニティ・スクールにおける活動や地域学校協働活動においても活用されていることから、今回、本連絡協議会の趣旨等にご賛同いただき、賛助会員として加入されました。

公益財団法人日本漢字能力検定協会 <https://www.kanken.or.jp/>

**漢検**

**文章検**

文章読解・作成能力検定

## ウェブサイトをリニューアルしました

本連絡協議会のウェブサイトをリニューアルしました。本連絡協議会の活動やコミュニティ・スクールに関する情報発信に引き続き取り組みます。

全国コミュニティ・スクール連絡協議会のウェブサイトはこちらの二次元コードからもアクセスできます。



## 全国コミュニティ・スクール連絡協議会

事務局 東京都三鷹市教育委員会 教育部教育政策推進室  
〒181-8505 東京都三鷹市下連雀九丁目 11 番 7 号  
電話 0422-45-1151 (内線 3221)  
電子メール [kyouikuseisaku@city.mitaka.lg.jp](mailto:kyouikuseisaku@city.mitaka.lg.jp)  
ホームページ <http://www.japan-cs.org/>